

システム変更等のお知らせ

(2023.7.1 - 2023.8.31 変更)

1. ハードウェア

1.1 Wisteria/BDEC-01 スーパーコンピュータシステム

2023年7月28日から運用復帰 (2023年4月1日から縮退運転)

※電気料金の状況により再度縮退する可能性があります。

debug-o: 384 ノード -> 768 ノード (384 ノード運用復帰)

priority-o: 384 ノード -> 1,152 ノード (768 ノード運用復帰)

regular-o: 4,608 ノード -> 5,376 ノード (768 ノード運用復帰)

1.2 Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステム … 2023年9月29日 サービス終了

1.3 Ipomoea-01 大規模共通ストレージシステム … なし

2. ソフトウェア

2.1 Red Hat Enterprise Linux 8 (Wisteria/BDEC-01)

➤ Odyssey

LAMMPS	23Jun2022	(2023.7.28)
--------	-----------	-------------

➤ Aquarius

MATLAB	R2023a	(2023.7.28)
--------	--------	-------------

➤ Guacamole サーバ

Apache Tomcat	v9.0.78	(2023.7.28)
---------------	---------	-------------

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.2 Red Hat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakbridge-CX) … 2023年9月29日 サービス終了

2.3 Red Hat Enterprise Linux 8 (Ipomoea-01) … なし

3. その他

3.1 2023年度 Wisteria/BDEC-01 の運用について

昨今の電気料金高騰に伴い、2023年度利用負担金について値上げを実施させていただくとともに、値上げ幅を緩和するため、消費エネルギーの多い Wisteria/BDEC-01 Odyssey の計算ノードについて 2023年度当初から一部を稼働停止とさせていただいておりました。しかしながら、電気料金の最近の状況を勘案し、停止していた Odyssey の計算ノードを 2023年7月28日に運用復帰いたしました。

今後、電気料金の状況に応じて再度縮退する可能性は引き続きありえます。利用者皆様にはご負担をおかけすることになりますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

運転復帰 (2023年8月1日時点) ※電気料金の状況により再度縮退する可能性があります。

debug-o: 384 ノード -> 768 ノード (384 ノード運用復帰)

priority-o: 384 ノード -> 1,152 ノード (768 ノード運用復帰)

regular-o: 4,608 ノード -> 5,376 ノード (768 ノード運用復帰)

3.2 Oakbridge-CX サービス終了について

Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステムは2023年9月29日17:00をもってシステムを停止し、すべてのサービスを終了致します。

Oakbridge-CX サービス終了にあたっては以下の点にご注意ください。

- サービス終了後のスーパーコンピュータのご利用につきましては Wisteria/BDEC-01 をご検討ください。
- トークン移行をお申込いただく場合は、9月26日9:00までにお申込ください。期限後の申込は受けいたしかねます。また、サービス終了時点で残トークンがあったとしても他システムへの移行や返金等はできません。
- ファイルの移行先については、前述の Wisteria/BDEC-01 以外に 「大規模共通ストレージシステム (Ipomoea-01)」 もご利用頂けます。「Ipomoea-01」 についての詳細は Web ページ(<https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/supercomputer/ipomoea01/service/application.php>)をご参照ください。なお、ファイルの移行作業は利用者様ご自身で実施願います。